

作成日 2023 年 12 月 28 日

当院で冠動脈バイパス術を受けられた患者様へ

当院では、1994 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日の期間に冠動脈バイパス術を受けられた患者様のうち、術前の左室駆出率 35%以下の方を対象として、術後の生命予後と心機能の変化を検討するための研究を行っております。本研究の対象者に該当する可能性がある方で、診療情報等を下記の研究に利用されることを希望されない場合には、末尾に記載いたしました研究担当者までお知らせください。情報の登録が終了し、解析を開始した後に協力取り消しを申し出られた場合は、本研究への協力を取り消すことができなくなります。なお、本研究への協力を拒否されても、今後の治療を受ける上で不利益が生じることはありません。

【研究名】EF25%以下超低心機能に対する冠動脈バイパスの生命予後と術後心機能改善効果の検討

【本研究の目的と意義】

低心機能に対する冠動脈バイパスは生命予後改善効果があることが報告されていますが、左室駆出率 25%の超低心機能に対する冠動脈バイパスの報告は少なく、データが十分に蓄積されていません。また、冠動脈バイパスの心機能改善効果については分かっていないことが多く、心機能がどの程度改善し、それが生命予後を改善するのかは議論があります。今研究では超低心機能に対する冠動脈バイパスの生命予後と、術後の心機能の推移、心機能の改善が生命予後に影響を及ぼすかどうかを調査します。

【研究対象者及び該当期間】

1994 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日の期間に、当院で、冠動脈バイパス術を施行した患者様のうち、術前の左室駆出率 35%以下の方を対象といたします。なお予定手術のみとします。血液検査や既往、生活歴と、手術記録、術後の経過及び各種検査結果を含む電子カルテ情報を参照させていただき、解析を行います。

【個人情報の取り扱い】 利用する情報は匿名化し、患者様を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等での発表を予定しておりますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用いたしません。

【利益相反】

本研究において、開示すべき利益相反はありません。

【研究担当者】三井記念病院心臓血管外科 東野旭紘 〒101-8643 東京都千代田区神田
和泉町 1 番地